

キャスク仮保管設備 蓋間圧力異常警報発生について

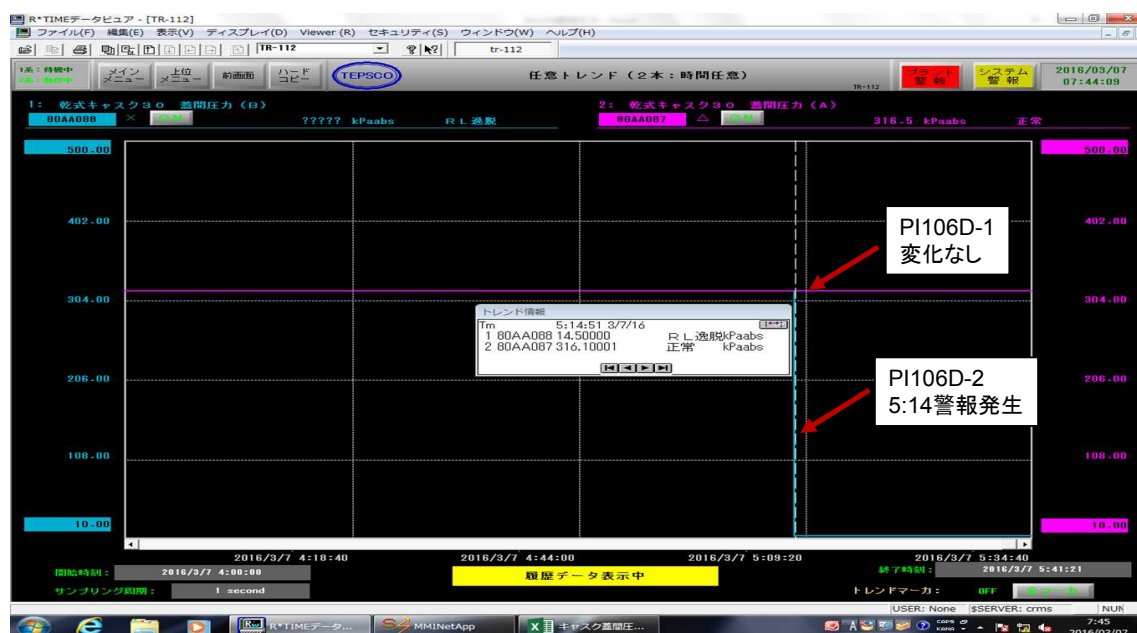
2016年3月31日

東京電力株式会社

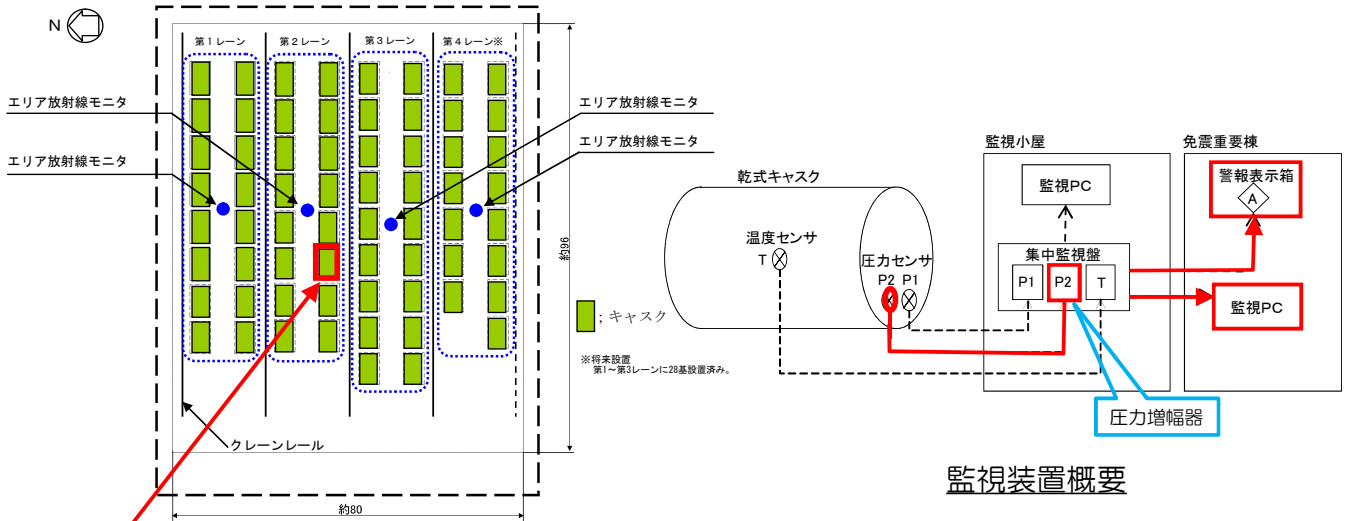
1 発生状況

■ 事象概要

- 3月7日5時14分、乾式キャスク『蓋間圧力異常』警報発生
 - キャスク(6D) PI106D-2: 315.0kPa→14.5kPa(警報設定値: 250kPa)
- 6Dの蓋間圧力計は2個あり、片系(PI106D-2)のみ指示値が警報設定値を下回る
- もう一方(PI106D-1)の指示値は316.1kPaで変化なし



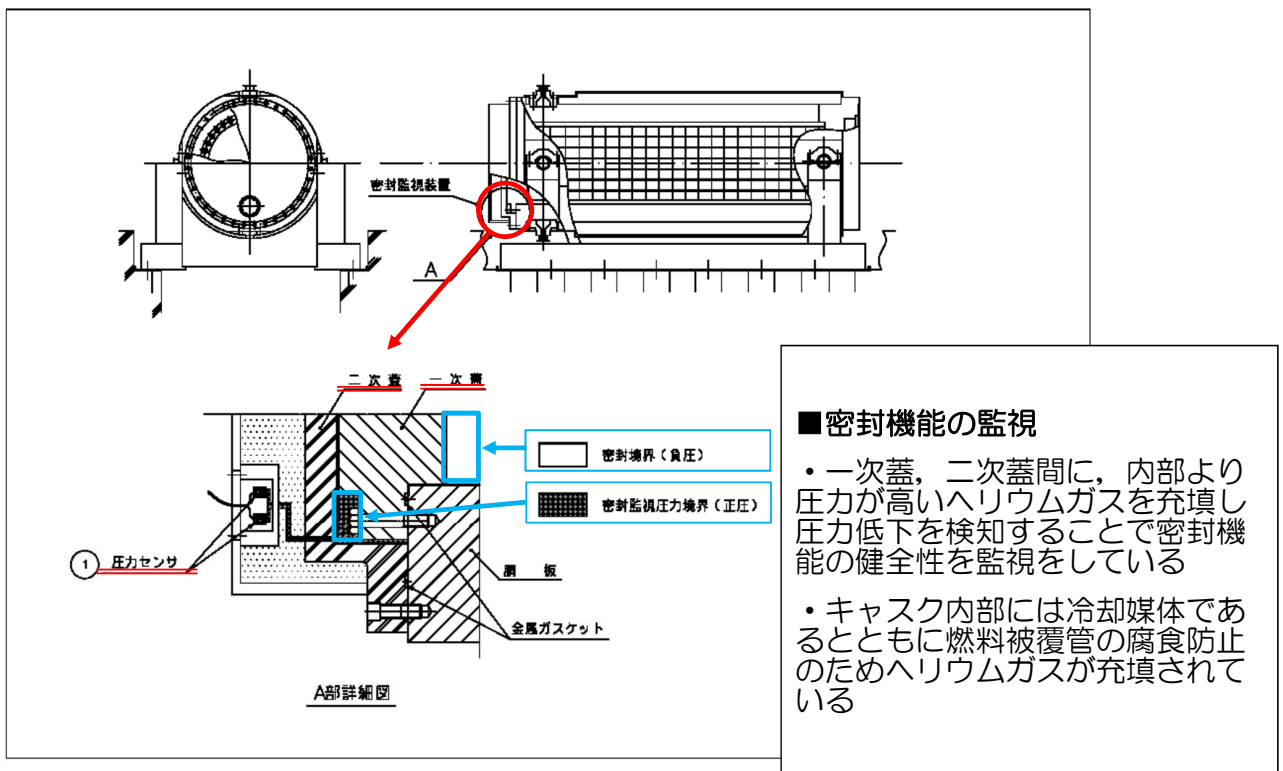
2 キャスク配置図と監視装置概要



「蓋間圧力異常」
警報発生6D

キャスク配置図

3 蓋間圧力の監視



4 状況確認結果および対応

■圧力の確認

- ・キャスク6Dの圧力計（2個）のうち、片系のPI106D-2のみ指示変動。
- ・もう一方のPI106D-1については変動のないことを確認。
- ・現場において、簡易圧力計にて蓋間圧力を確認したところ327kPaであることを確認。

■現場配線接続状況・外観の確認

- ・現場の配線状況，端子の状況，外観に異常がないことを確認。

■圧力計測器の点検

- ・圧力増幅器への模擬入力による指示確認を実施したが，正常な指示が出なかった。

■まとめ

- ・PI106D-2圧力増幅器(PT106D-2)に異常が確認された。
- ・PI106D-1および簡易圧力計の指示値から，蓋間圧力に異常はなかった。
- ・以上より，蓋間圧力低下の実事象ではなく，PI106D-2圧力増幅器の故障と判断。

■圧力増幅器の交換

- ・平成28年3月17日圧力増幅器の交換，ループ試験を実施し指示に異常のないことを確認。
- ・『蓋間圧力異常』警報がクリアしたことを確認。